

みんなの新宿をつくる会と東京地評の75人 新宿駅西口を宇都宮色で染める



6月16日午後6時から7時、新宿駅西口で「みんなの新宿をつくる会」（略称・みんなの会）と東京地評が合同で宇都宮けんじ予定候補の街頭

宣伝に取り組みました。

参加者は総勢75名となり、横断幕やプラスターをにぎやかに並べ、「希望のまち東京をくる会」の宇都宮ビラ500枚を配布しました。全労連の宣伝

カーからは、東京地評、自治労連、新宿区労連の各労働組合の役員、新宿生活と健康を守る会、東京法律事務所の弁護士2名とともに、政党から大山とも子都議、かわの達男社民党新宿区議の9名の弁士が次々とリレートーク。この時間、西口周辺を宇都宮色で染め、大勢が参加して元気になり、これからの活動の跳躍台にすることができました。街頭キャンペーンも13000円寄せられました。

みんなの会は、都知事選告示後に、3回にわたり区内で宣伝行動を予定しており、宇都宮必勝めざして全力で奮闘します。

立民・共産・新社と市民で「しぶなか市民連」結成し、キックオフ集会



6月14日、「宇都宮さんを都知事に！しぶなか市民選挙連絡会」（通称しぶなか市民連）が発足しました。参加者は、立憲民主党の西澤都議、渋谷区議団代表の中田たかし区議、中野区議団代表のひやま隆区議、日本共産党は渋谷地区小峰委員長、中野地区太田委員

長、渋谷区議団代表の田中まさや区議、中野区議団代表の長澤和彦区議、植木こうじ元都議。新社会党から江原さん、奥田さん。市民からは、「都政を変えよう！中野の会」、「都政を変えよう！渋谷の会」が参加しました。

6月16日、宇都宮さんを都知事に！しぶなか市民選挙連絡会はキックオフ集会を開き、政党と市民の共闘で選挙勝利に全力を尽くすことを確認しました。宇都宮健児さんのメッセージが紹介された後、立憲民主党の西沢けいた都議が小池知事が4年前に掲げた「7つのゼロ」の公約のすべてが無視・反故にされている実態を紹介し、正直公正な宇都宮さんこそが必要だと訴えました。日本共産党から医師の谷川智行さんが、都庁前で雨をしのいで行っていた生活困窮者支援の活動を都庁職員が敷地が追い出そうとしたことを報告。年越し派遣村の活動はじめ、常に困っている人の救済に尽力してきた宇都宮さんの勝利で都政の変えようと訴えました。さらに東京自治問題研究所の安達智則さん、弁護士の藤原朋弘さん、新倉治青山学院大学名誉教授などが、宇都宮さんの勝利を目指して全力を尽くそうと呼びかけ、最後に事務局長からの行動提起を確認しました。約40人参加。（写真はキックオフ集会終了後）